



③-1 生活支援のための運動学

(様式第1号)

平成 28 年 5 月 25 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : ③リハビリテーションに関する領域

科 目 名 : ③-1 生活支援のための運動学

単 位 数 : 1 単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 公益社団法人長野県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 380-0928

長野県長野市若里 7-1-7

電話 : 026-223-6670

FAX : 026-223-6679

E-mail : sakai@kaigo-nagano.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者:(公社)長野県介護福祉士会
会長 畠山仁美

申請責任者: 酒井 良育



記

○認定介護福祉士認定研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	リハビリテーションに関する領域	
科目名	生活支援のための運動学	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	・介護福祉士として生活支援に必要な運動生理を理解し、支援に活用させる	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・筋・骨・関節など運動器系や脳・脊髄・末梢神経など神経系の解剖・生理機能を理解し、支援に活用できる。 ・関節可動域や関節運動などヒトの基本的な動きについて理解し、支援に活用できる。 ・日常の諸動作の中で、身体各部の相互関係を理解し、支援に活用できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○身体表面のランドマークの名称 ○骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖・生理 ○内部器官の運動時の生理 ○身体運動の基本的知識（関節可動域、筋力、運動の方向、動作） ○運動の基本的な力学的考え方（モーメントなど） ○摂食嚥下における解剖・運動生理 	<ul style="list-style-type: none"> ○事前課題①（3時間） 事前に配付される身体各部の名称、骨、筋、関節、神経、解剖生理、運動、摂取と代謝、モーメント、に関する資料をよく読み、人体の構造と機能について自己学習しておく。この課題によって、人体に関する用語と基礎的な機能の理解を深めておくことにより、講義内容の容易な把握につなげる。 ○事前課題②（3時間） 業務中に生じた移乗動作方法の問題について、自身の課題と課題解決のために必要な事柄を具体的にまとめ提出する。この課題によって、移乗動作における問題解決に際し、運動学的な思考によって問題点を振り返り、解決を図ることに触れる。 ○身体表面のランドマークの名称、骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖・生理および内部器官の運動時の生理（1時間） 【講義】 資料を見ながら身体部位の名称を確認する。同時に解剖学、生理学的な基本知識を学ぶ。 ○身体運動の基本的知識（関節可動域、筋力、運動の方向、動作）および運動の基本的な力学的考え方（モーメントなど）（2時間） 【講義】 介護動作を安全に行うために必要な運動学を基本的な力学から学ぶ。 ○摂食嚥下における解剖・運動生理（1時間） 【講義】 介護に必要となる摂食・嚥下機能について学ぶ。合わせて、呼吸機能や運動代謝についても学ぶ。
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> ■集合研修 ■課題学習 	

	<p>○集合研修講義を行う</p> <p>○課題学習は事前課題として、①資料を読み自己学習、②レポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>
研修時間	10 時間（集合研修 4 時間）（課題学習 6 時間）
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計 30 分（遅刻、早退それぞれ 15 分）を上限として認める。（レポート課題なし）1 日のプログラムのうち、始めの 30 分を超える遅刻、終わりの 30 分を超える早退であって 60 分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。60 分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。</p> <p>○修了評価として行う筆記試験（50 問程度）において、A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）であること。D 評価（59 点以下）の場合は、再試験を行い、A～C 評価とならなければならない。なお、再試験は複数回の受験を可能とする。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者
(2) 受講者について	
受講対象（受講要件）	単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。
修了評価	筆記試験（50 問程度）により行い、100 点～80 点を A 評価、79 点～70 点を B 評価、69 点～60 点を C 評価、59 点以下を D 評価とする。A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）で修了とする。
(3) 研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	30 名（講師 1 名）
開催場所（都道府県）	JA 長野県ビル(長野県長野市)

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 29 年 3 月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 長野県長野市 JA 長野県ビル
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当する講義等 生活支援のための運動学 修了評価
	山本 良彦 氏 理学療法士 【職歴】 平成 2 年 信州大学医療技術短期大学部理学療法学科卒業 平成 2 年 リハビリテーションセンター鹿教湯病院 (介護福祉士 46 名、介護支援専門員 15 名、看護助手 57 名と働く) 平成 5 年 稲荷山医療福祉センター 平成 12 年 長野医療技術専門学校 平成 27 年 長野保健医療大学助教 【社会活動】 (公社) 日本理学療法士協会、代議員 (一社) 長野県理学療法士会、副会長・理事 聖徳大学大学院児童学研究科児童学専攻博士前期課程在籍 【著書】 「ダウン症リハビリテーションガイド」、診断と治療社、2013 「五十肩のリハビリテーションー病期に合わせた適切な運動療法ー」、診断と治療社、2015 【研修履歴】 平成 13 年 7 月 20 日、29 日 長峰学園リハビリ研修会 テーマ「施設でリハビリをどのように取り入れるか」 主催：長峰学園 (現、常岩の里ながみね) (飯山市) 平成 14 年 1 月 20 日 長峰学園リハビリ研修会 テーマ「日常生活の中でのリハビリテーション」 主催：長峰学園 (飯山市) 平成 14 年 5 月 19 日 長峰学園リハビリ研修会 テーマ「介護職員の腰痛」 主催：長峰学園 (飯山市)

	<p>平成 14 年 11 月 24 日 長峰学園リハビリ研修会 テーマ「入所者に対するストレッチ、筋力強化」 主催：長峰学園（飯山市）</p> <p>平成 15 年 9 月 20 日 看護・介護職のための呼吸勉強会 テーマ「呼吸理学療法」 主催：栗田病院（長野市）</p> <p>平成 17 年 1 月 18 日、2 月 15 日 ケアマネージャーの集い テーマ「呼吸器リハビリテーション」 主催：指定居宅介護支援事業所近藤鍼灸治療院</p> <p>平成 17 年 11 月 6 日 施設内研修会 テーマ「施設におけるリハビリテーション」 主催：特別養護老人ホーム長寿荘（長野市）</p> <p>平成 18 年 3 月 13 日、7 月 10 日 施設内講習会 テーマ「呼吸と嚥下について」 主催：特別養護老人ホーム松寿荘（長野市）</p> <p>平成 18 年 7 月 31 日 施設内研修会 テーマ「拘縮予防」 主催：特別養護老人ホーム杏寿荘（千曲市）</p>
	<p>担当する講義等 山本 良彦 氏（理学療法士） 履歴等は同上</p>
(3) 実施体制	
<p>研修の企画運営の組織 （担当部局・人員）</p>	<p>研修委員会（非常勤：17 名） 事務局（担当事務局員、常勤：4 名） 研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、 担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。 また、できる限り研修委員会の委員が研修を見学し、研修内 容を評価するとともに、随時、研修の見直しを図る。</p>
<p>研修の企画運営に関する諸 規程</p>	<p>研修委員会設置要綱</p>
<p>研修管理責任者職名</p>	<p>副会長</p>
<p>研修管理責任者氏名</p>	<p>原千香子</p>
<p>機構問合先部署</p>	<p>長野県介護福祉士会事務局</p>
<p>機構問合先担当者氏名</p>	<p>酒井良育</p>
<p>機構問合先電話番号/FAX</p>	<p>026-223-6670 FAX 026-223-6679</p>
<p>機構問合先 e-mail アドレス</p>	<p>sakai@kaigo-nagano.jp</p>
<p>受講問合先部署</p>	<p>長野県介護福祉士会事務局</p>
<p>受講問合先担当者氏名</p>	<p>酒井良育</p>
<p>受講問合先電話番号/FAX</p>	<p>026-223-6670 FAX 026-223-6679</p>
<p>受講問合先 e-mail アドレス</p>	<p>sakai@kaigo-nagano.jp</p>
(4) 研修履歴の管理体制	
<p>受講者への付与単位部門</p>	<p>長野県介護福祉士会事務局</p>
<p>受講履歴の管理方法</p>	<p>○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。</p>

③-1 生活支援のための運動学

	<p>○データ保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 ○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。</p>
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	土屋一都(事務局長)
管理担当者氏名	酒井良育(担当の常勤職員)